

Viva Arte No.7

文化研究講座 ～ 6/16 フィルハーモニック・アンサンブル・ウィーン “モーツァルティステン” ～

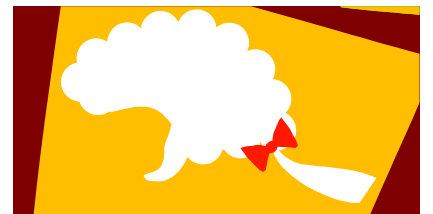
文研をより楽しむために、ちょっとした知識やおすすめの曲を学生の視点からわかりやすく紹介します！
今回は、フィルハーモニック・アンサンブル・ウィーン “モーツァルティステン” のみなさんが演奏して下さる
ハイドンのチェロ協奏曲、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲、シューベルトの紹介をします♡

I. 音楽家のヘアスタイル

モーツァルトやハイドンを思い浮かべてみてください。

実はあの白い頭、カツラなんです！！

カツラが紳士の威厳を保つための手段として流行したのは、17世紀以降と言われています。時の国王ルイ13世は若いうちから髪が薄くなり、カツラをかぶっていました。フランスの宮廷では、国王が流行をリードすることが多く、以後カツラは儀礼として必需品となりました。



18世紀になると、ルイ14世からバッハ、モーツァルト、カント、ニュートン、ワシントンなどに至るまで、あらゆる国の上流階級、知識階級に普及しました。ハイドンは6歳の時に親から最初のカツラをもらって以来、外出の時は必ずカツラをかぶっていたそうです。当時はカツラをかぶらないで出歩くことは身だしなみとして最低でした。

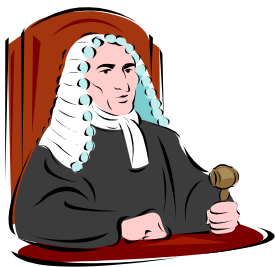
ナポレオンの時代になると、カツラをかぶる人は少なくなり、ヨーロッパではイギリスだけが、裁判官や弁護士、議長などの権威の象徴としてカツラを残しました。

そんなイギリスにも今、カツラ存続の危機が迫っています！！

17世紀以来、イギリスの法廷では裁判官と弁護士は白いカツラの着用が伝統になっていました。しかし「カツラは時代遅れ」、「カツラが市民を司法から遠ざけている」という意見により、2008年1月1日から民事裁判では姿を消しました。

ただ、刑事裁判でのカツラ着用は、法廷の威厳を保つとともに、裁判官らの人物特定を難しくして被告人からの報復を防ぐなどの目的で継続されています。

伝統的なカツラ文化をぜひ残して欲しいですね。



II. ヨーゼフ・ハイドン (1732～1809)

古典派の作曲家たちの中では最も長い77年の人生を全うしたハイドン。

モーツァルトは敬愛を込めて、「パパ」と呼んでいたそうです。

当時のドイツ、オーストリアにおける音楽家の最高の就職は、王侯貴族のお抱え楽師になること。ハイドン29歳の年、ハンガリーの大貴族エステルハージ侯爵家の副楽長に就任しました。その契約書には以下のことが書かれていました。

- ・侯爵家ではカツラを着用し、飾りのついた鮮やかな色の制服を身に付け、白い靴下をはくこと。
- ・殿下の命じる音楽を作曲する義務をもち、殿下の許可なく、他人のために作曲してはならない。
- ・部下の遅刻や欠勤の記録をとり、部下の間の不和や苦情は、適切な解決をはかること。
- ・すべての楽器と楽譜を管理し、不注意や怠惰のため破損した場合は責任をとらなければならない。……など

副楽長の職は、作曲と演奏だけではなく、人事・管理などのすべてを任せられた大変なものでした。それでも契約したのは、エステルハーシ侯爵家がこれまでハイドンが仕えてきた貴族とは桁違いの大貴族だったからです。彼らはハンガリーとその周辺に 29 の領土、21 の城、6 つの町、400 余りの村を持ち、ウィーンにも 3 つの宮殿を構えている大金持ちでした。

年俸も高く、家まで提供してくれるエステルハーシ侯爵家に、ハイドンは 42 年間、4 代の主君に仕えました。

Ⅲ. ハイドン『チェロ協奏曲 二長調 Hob.VIIb : 2』

この曲はドヴォルザーク、シューマンとともに
「三大チェロ協奏曲」の一つとして愛されている名曲です。

1783 年、ハイドンの円熟期に書かれたこの協奏曲は、20 世紀中頃まで、本当にハイドンが書いたかどうか疑われていました。しかし、ハイドンの自筆楽譜が 1954 年にウィーンで発見されたため、今ではハイドンの作品であることがはっきりとしています。

独奏パートが非常に技巧的に書かれているにもかかわらず、オーケストラが単なる伴奏ではなく、独奏チェロと華やかな対話を繰り広げます。この協奏曲は、ハイドンが楽長を務めたエステルハーシ侯爵家のオーケストラで活躍したアントン・クラフトという著名なチェロ奏者のために作曲されたと考えられています。



Ⅳ. モーツァルト『ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調 K.219「トルコ風」』

「トルコ風」という題名は、第 3 楽章の中間の活発なリズムを持った部分を指しています。

では、なぜ「トルコ風」なのでしょう？

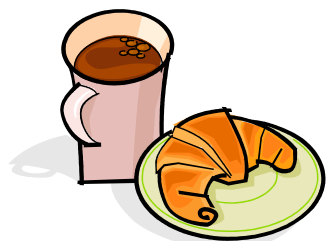
17 世紀後半、ヨーロッパに進撃していたオスマン・トルコには、軍の指揮を高めるために「メヘテルハーネ」という軍楽隊がいました。彼らが奏でる独自のリズムとメロディーは当時のヨーロッパの人々に大きな衝撃を与えました。トルコ軍楽は管弦楽や打楽器を使い、一定のリズムを終始繰り返し展開するのが特徴で、ブラスバンドを生むきっかけとなりました。



トルコ軍楽隊 イスタンブル旧市街での屋外コンサート

18 世紀になると、このトルコ式軍楽隊がヨーロッパ各国で採用され、トルコ軍楽は流行しました。しだいに作曲家達もこの異国情緒溢れる音楽を取り入れるようになり、トルコ軍楽を模した音楽は alla turca (トルコ風に) と呼ばれました。

トルコの名前がつく曲は他にも、モーツァルトのピアノ・ソナタ『トルコ行進曲』やベートーヴェンの劇音楽《アテネの廃墟》の第 4 曲『トルコ行進曲』が有名ですよね。



音楽の他にトルコ軍が残したものに、クロワッサンとコーヒーがあるとされています。クロワッサンとコーヒーは当時大ブレイクし、ウィーン名物であるカフェ・ハウスの発展にも繋がりました。

V. シューベルト『交響曲 第5番 変ロ長調 D.485』

1816年の秋、シューベルトが19歳の時にわずか1ヶ月で書き上げた『交響曲第5番』。

この年はシューベルトにとって、新しい道を模索した1年でした。

シューベルトは父が経営する学校で教師をしていました。作曲に専念したいと思っていましたが、プロの作曲家としての道は険しく、教師の仕事が続けざるを得ませんでした。

1816年2月、シューベルトは教員養成学校の音楽教師に応募し、4月には友人たちの勧めに従って、歌曲『魔王』の楽譜を作詞したゲーテに贈りました。これらの試みは、結局、実を結びませんでした。シューベルトがなんとか音楽だけで生計を立てようとしていことがわかります。



6月には友人から作曲の依頼を受け、生まれて初めて作曲料をもらいました。その作曲料は、教師の給料の半年分もの金額でした。秋には別の友人がシューベルトを自宅に招き、全面的に援助してくれたことで、やっと作曲に専念できるようになったのです。

その頃に作曲された『交響曲第5番』は、明るく心地よい旋律と優美な雰囲気醸し出されている作品です。

VI. シューベルトティアデー

シューベルトは友人に恵まれ、仲間を集めては演奏会を行いました。

その仲間たちの集まりは「シューベルトティアデー」と呼ばれていました。

集まったのは、有名な詩人・画家・台本作家・宮廷歌手たちで、一緒に食事をし、寸劇やジェスチャーなどの余興も楽しみました。シューベルトは内気な性格のために、大勢の客を前にするよりも仲間のグループに囲まれて自作の曲を披露するほうが好きだったそうです。シューベルトティアデーがきっかけで、シューベルトの音楽は、しだいにウィーンの人々に知られるようになりました。

<参考文献>

- 青島広志『シューベルトとウィーンの音楽家たち』（株式会社 学習研究社、2008年）
- 家里和夫『モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 全集』（東芝 EMI 株式会社、2003年）
- 音楽之友社編『作曲家別名曲解説ライブラリー⑬ モーツァルト』（音楽之友社、1993年）
- 音楽之友社編『作曲家別名曲解説ライブラリー⑳ ハイドン』（音楽之友社、1996年）
- 後藤真理子 監修『一冊でわかるクラシック音楽ガイド』（成美堂出版 株式会社、2005年）
- バリー・カーソン・ターナー著 橋高弓枝訳『伝記 世界の作曲家⑤ シューベルト』（株式会社 偕成社、1998年）
- ひのまどか『ハイドン—使い捨て作品と芸術作品』（株式会社 リブリオ出版、1996年）
- Yahoo! JAPAN「生誕 250年 モーツァルト特集」（閲覧日：2010年6月13日）
http://event.yahoo.co.jp/mozart/knowledge/03_02.html
- 紀田順一郎「理髪の文化史」（閲覧日：2010年6月13日）
<http://plus.harenet.ne.jp/~kida/topcontents/news/2010/050102/index.html>
- YAMAHA「チェロの名曲」（閲覧日：2010年6月13日）
<http://www.yamaha.co.jp/edu/instruments/cello/masterpiece/index.html>
- 国際ニュース AFPBB News（閲覧日：2010年6月13日）
<http://www.afpbb.com/article/disaster-accidents-crime/crime/2253400/1781248>

<写真協力>

現代教養学科 鶴田佳子先生

いかがでしたでしょうか？

ご意見・ご感想、リクエスト等ありましたら、

viva_arte_2010@yahoo.co.jp にメールください！！

お待ちしております♪